

スローライフへの提言 ― 最終回

このコーナーでは、「新春村民のつどい」で行われた
第5次総合振興計画提言、テーマ「もったいない」の内
容をご紹介します。



第5次総合振興計画
策定委員

杉岡

誠さん
(草野)

唐突ですが、みなさん、
「伊東家の食卓」というテ
レビ番組をご存知でしょ
うか？

俳優の伊東四郎さんや五
月みどりさんが、伊東家の
食卓を囲みながら、テレビ
を見ている視聴者の方から
送られてきたビデオで、生
活の中の裏ワザ、生活の知
恵、というものを紹介して
いく番組です。たぶん、昨
年放送された分だと思いま

すが、シャンプーやリンス
を普段使っている1/3の
量に節約できる裏ワザとい
うのが紹介されていました。

どうやってやるのかと言
うと、やり方はすごく簡単で、
シャンプーやリンスをする
ときに、両手にポリエチレ
ン製の手袋をはめて頭を洗
うだけで普段の1/3で済
むという裏技でした。「えっ？
そんな簡単なやり方なの？」
と、言うくらい簡単なこと
なんです。いつもながら
「いやあ、そんなやり方が
あったんだなあ、初めて使
い方を知ったなあ」と、感
動しながらというかビック
リしながら見た記憶があり
ます。

今日のテーマは「もった
いない」と、言うことで
すが、この「もったいない」
と、言う言葉を辞書で調べ
ると「そのものが本来もつ
価値が活かされず、残念な

様子」と、言う意味だそう
です。

でも、私たちは、「そのも
のがもつ本来の価値」など
というものをどれほど知っ
ているのでしょうか？たぶ
ん、ほとんど知らないの
ではないでしょうか？

逆にものの本当の価値と
いうものをよく知ってい
れば「もったいない」なんて
言葉はないでしょうし、

「もったいない」というこ
ともないんだと思います。
つまり「物事の価値を知る
こと」―これが「もった
いない」というテーマを
考える上で一番重要なじや
ないかな？と思います。ま
た、この「価値」というも
のを育むのは「知識」だ
と思います。「知識」と言
うのはなにも学問的な難し
い理屈のことではなくて、
「伊東家の食卓」で紹介さ
れるような、生活の中の

「ちよつとした知恵」とか
「裏ワザ」あるいは「おば
あちゃんの知恵袋」とか言
われるもの、それが私
たちに必要な「知識」なん
じやないかな？と思います。

そして、この「知識」と言
うものは、やっぱり人と物
を言い合わなければ、な
なか自分の中に容れるこ
とができない知恵なんじや
ないかな？と思います。

つまり知恵の分かち合
いのために必要なのは「人
と言い合う」ことだと思
います。「言い合う」とい
うのも何も喧嘩腰に話を
する必要はありません。た
とえば、人がちよつとも
ったいないもの、ものの
使い方をしているな、
と思つたときに「なんだ、
もったいないこと！」と
言わないで、「なんだ、家
ではこんな使い方してん
だぞ、こんな使い方した
らもったいないんじゃない
の？」

とちよつとやさしく声を
かけたらどうでしょうか？

そう言うちよつとした
気遣いで、もつと周りの
人たちと簡単に「言い
合う」とができ、もつと
たくさん人の知恵を自分
の中に蓄えることができ
るのでしょうか？結論と
して、私たちにこれから
求められることは、「も
ったいない」と言つて、
なんでもかんでもかき
集めて溜め込むこと、
ではないと思います。何
よりも「もったいた
い」なかつたんだ」と
初めて気づけるよう
な「価値観を養って
いくこと」それが
これから一番重要な
ことだと思ひます。

最後に「ものは言え
言え、でもちよつとやさしく」、
この一言をもつて、私の
提言とさせていただきます。